

道総研第 413 号
平成26年 6月 3日

各 位

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
理事長 丹保 憲仁

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員の募集について

時下ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に北海道立の22の試験研究機関を統合し設立した地方独立行政法人であり、農業、水産業、工業、食品産業、環境・地質及び建築の各分野や地域における課題等に対応した研究開発、技術支援等を実施しております。

この度、別添「地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用募集要項」のとおり平成27年度採用の職員を募集することになりました。

つきましては、**貴校の学生、卒業生等**に本募集要項を周知していただくなど、受験に特段のご配慮をお願いいたします。

記

1 送付書類

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用試験募集要項（平成27年度採用）

2 申込の受付期限

平成26年6月30日（月）【消印有効】

3 その他

今回送付した募集要項のほか、受験の「申込書」についても当機構のホームページ (<http://www.hro.or.jp>) からダウンロードできますのでご活用ください。

なお、ご質問等がある場合は、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
本部経営企画部経営企画グループ

担当：加藤^{かとう}、川瀬^{かわせ}

電話 011-747-0055（内線212, 214）

F A X 011-747-0211

E-mail kawase-akiko@hro.or.jp

地方独立行政法人北海道立総合研究機構研究職員採用試験募集要項 (平成27年度採用)

平成26年6月3日 札幌市北区北19条西11丁目
北海道立総合研究機構 電話 011-747-0055

- 受付期限 平成26年6月30日(月) [消印有効]
- 第1次試験日 平成26年7月20日(日)
- 試験地 札幌市

地方独立行政法人北海道立総合研究機構は、平成22年4月に、幅広い研究分野を有する試験研究機関として北海道の総力を結集した試験研究や技術支援等を進め、自然環境の保全や道民の豊かな暮らしづくり、道内産業の振興に貢献することを目的に、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野からなる22の試験研究機関を統合して設立した研究機関であり、この採用試験は、各研究分野において研究業務を行う職員を採用するための試験です。

なお、採用後の身分は地方独立行政法人北海道立総合研究機構の職員となります。
(北海道職員ではありません。)

1 試験区分、採用予定数、主な職務内容及び採用時の勤務予定箇所

試験区分	採用予定数	主な職務内容	採用時の勤務予定箇所
農業 (環境保全)	1名	農業の生産環境保全及び土壌資源に関する調査研究	農業試験場
農業 (家畜衛生)	1名	家畜衛生に関する調査研究	畜産試験場
農業 (作物)	1名	作物育種に関する調査研究	農業試験場
水産 (管理増殖)	1名	水産資源(さけますを含む)の管理及び増養殖に関する研究	水産試験場
水産 (水産土木)	1名	水産土木に関する研究	
森林 (木材工学)	1名	木質構造部材の開発・評価に関する研究	林産試験場
森林 (育林)	1名	森林の造成・保育技術に関する調査研究	林業試験場
産業技術 (情報工学)	1名	情報通信技術の応用に関する研究並びに企業等への技術支援	工業試験場
産業技術 (機械工学)	1名	機械加工技術に関する調査研究並びに企業等への技術支援	
産業技術 (エネルギー)	1名	エネルギーの安定供給及び高度利活用に関する研究並びに企業等への技術支援	
環境・地質 (環境情報学)	1名	廃棄物系バイオマスのエネルギー利用に向けたシステムや要素技術に対する経済性、環境負荷等の分析・評価	環境科学研究センター
環境・地質 (地球化学)	1名	地熱・温泉、地下水資源の開発及び持続可能な利用に関する調査研究	地質研究所
建築 (都市工学・防災計画)	2名	都市及び防災の計画に関する調査研究	北方建築総合研究所
建築 (都市設備・エネルギー)	1名	建築群及び都市の高効率設備及びエネルギー制御に関する調査研究	

※ 「採用時の勤務予定箇所」の所在地については、当機構のホームページ (<http://www.hro.or.jp>) に記載しています。

※ 上記試験区分のうちいずれか1つしか応募できません。また、申込受付後は試験区分の変更は認めません。

2 試験日程、試験地等

試験区分	試験	試験日	試験地	試験会場
全試験区分	第1次試験	7月20日(日) 9:30(着席) 16:00(終了見込み)	札幌市	受験票でお知らせします。
	第2次試験	8月下旬	札幌市	第1次試験合格通知書でお知らせします。

3 求める人材、受験資格

試験区分	求める人材	受験資格
農業 (環境保全)	農学の分野全般の基礎知識、 並びに環境・土壌学及び作物栄養学に関する専門知識を有する者	昭和60年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
農業 (家畜衛生)	畜産学及び獣医学の分野全般の基礎知識、 並びに獣医学に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 獣医師の資格を有する者又は獣医師の資格を取得する見込みの者
農業 (作物)	農学の分野全般の基礎知識、 並びに作物学、育種遺伝学及び生物工学に関する専門知識を有する者	昭和60年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
水産 (管理増殖)	水産学の分野全般の基礎知識、 並びに魚類の集団遺伝学及び数量解析学に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
水産 (水産土木)	水産学の分野全般の基礎知識、 並びに水産土木に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
森林 (木材工学)	林産学の分野全般の基礎知識、 並びに木材工学に関する専門知識を有する者	昭和60年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
森林 (育林)	森林科学の分野全般の基礎知識、 並びに育林学に関する専門知識を有する者	昭和60年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
産業技術 (情報工学)	情報工学の基礎知識、 並びに計算機科学及びソフトウェア工学に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
産業技術 (機械工学)	機械工学の基礎知識、 並びに機械加工及びデジタルエンジニアリングに関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
産業技術 (エネルギー)	化学・化学工学の基礎知識、 並びにエネルギー工学に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
環境・地質 (環境情報学)	環境工学及び環境科学の基礎知識、 並びに地理情報システム、ライフサイクルアセスメントなどを活用した技術的・社会的システムの評価に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
環境・地質 (地球化学)	地球科学の基礎知識、 並びに地球化学に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者

試験区分	求める人材	受験資格
建築 (都市工学・ 防災計画)	建築学・都市計画学の基礎知識、 並びに都市工学及び防災計画に関する専門知識を有する者	昭和50年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者
建築 (都市設備・ エネルギー)	建築学の基礎知識、 並びに都市における設備、エネルギー制御に関する専門知識を有する者	昭和55年4月2日以降に生まれた者で 修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者

※ 試験区分によって受験資格（年齢・資格）が異なりますので、ご注意のうえ応募してください。

※ 受験資格に記載されている「修士課程修了者と同等の能力を有すると認められる者」については、専門試験においてその能力を判断するものであり、修士課程修了者や見込者に限定するものではありません。

※ 次に該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 北海道職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日（昭和22年5月3日）以降において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

なお、日本国籍を有しない方も受験できますが、採用日において、法令により永住が認められていない人は採用されません。

4 試験方法、内容

試験区分	試験	試験種目	解答時間	内 容
全試験区分	第1次試験	教養試験 (択一式・40題)	2時間	当機構研究職員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験 (出題分野は下表のとおり)
		専門試験 (択一式・記述式)	3時間	各試験区分に応じて必要な専門的知識、能力などについての筆記試験 (出題分野は下表のとおり) ※試験区分によっては択一式のみ又は記述式のみ出題となる場合があります。
	第2次試験	人物試験		第1次試験合格者に対して、個別面接及び適性検査を行います。

教養試験出題分野一覧表

試験区分	出 題 分 野
全試験区分	社会科学系（政治、経済、憲法、社会・思想） 人文科学系（日本史、世界史、地理、国語、芸術・文学） 自然科学系（数学、物理、化学、生物、地学） 文章理解（現代文、古文、英文）、判断推理、数的推理、資料解釈 ※大学卒業程度

専門試験出題分野一覧表

試験区分	出 題 分 野
農業 (環境保全)	農学（作物学、畜産学、作物育種学、植物生理学、土壌学）の基礎知識 環境・土壌学及び作物栄養学の専門知識
農業 (家畜衛生)	畜産学及び獣医学の基礎知識 獣医予防衛生学、獣医感染症学及び生産獣医療学の専門知識
農業 (作物)	農学（作物学、畜産学、作物育種学、植物生理学、土壌学）の基礎知識 作物学、育種遺伝学及び生物工学の専門知識

試験区分	出題分野
水産 (管理増殖)	水産学の基礎知識 水産資源学(水産資源、系群解析、水産動物)、水産増養殖学(水産増殖、水産養殖、環境改善)及び水産生物学の専門知識
水産 (水産土木)	水産学の基礎知識 水産土木(漁場造成・保全、漁場環境保全・改善)の専門知識
森林 (木材工学)	林産学の基礎知識 木材工学の専門知識
森林 (育林)	森林科学の基礎知識 育林学の専門知識
産業技術 (情報工学)	情報工学の基礎知識 計算機科学及びソフトウェア工学の専門知識
産業技術 (機械工学)	機械工学の基礎知識 機械加工学及び設計工学の専門知識
産業技術 (エネルギー)	化学・化学工学の基礎知識 エネルギー工学の専門知識
環境・地質 (環境情報学)	環境工学及び環境科学の基礎知識 地理情報学、空間統計学及び廃棄物処理システムに関する専門知識
環境・地質 (地球化学)	地球科学の基礎知識 地球化学(地熱・温泉、火山、地殻流体)に関する専門知識
建築 (都市工学・ 防災計画)	建築学・都市計画学の基礎知識 都市工学(交通計画学、地域計画学)及び防災計画学の専門知識
建築 (都市設備・ エネルギー)	建築学の基礎知識 建築環境学及び都市環境学(都市設備学、エネルギー制御工学)の専門知識

5 合格者の決定方法

- (1) 第1次試験合格者 教養試験及び専門試験の結果により決定します。
(2) 最終合格者 第1次試験(専門試験)及び第2次試験の結果により決定します。

6 合格発表

合格者の発表は受験番号のみにより行い、合格者の受験番号を当機構本部入口の掲示板に掲示するほか、当機構のホームページ上にも掲示します。また、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話による照会には応じません。

合格した方で、合格通知書が発表の日から2日経っても到着しない場合には、速やかに、北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ(電話 011-747-0055)にお問い合わせください。

なお、辞退等の理由により合格者を採用できなくなった場合は、第2次試験受験者のうち成績が上位である者を合格者として追加することがあります。

○ 合格発表日

- ア 第1次試験合格発表 8月上旬
イ 最終合格発表 9月下旬

7 試験結果の開示について

この試験の結果については、『地方独立行政法人北海道立総合研究機構口頭による開示請求の開示要綱』の規定により、下表のとおり口頭で開示を請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験者本人が、本人であることを証明する書類(運転免許証、健康保険の被保険者証、旅券、学生証等)を持参のうえ、午前8時45分から午後5時までの間に直接お越しください。(土・日曜日及び祝日は受付いたしません。)

開示請求できる人	開示期間	開示内容	開示場所
第1次試験 不合格者	第1次試験合格発表 日から1か月間	第1次試験の個別得 点及びその成績順位	北海道札幌市北区北19条西11丁目 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 本部経営企画部経営企画グループ
第1次試験 合格者	最終合格発表日から 1か月間	第1次試験の開示内 内容及び第2次試験の 得点並びに総合順位	

8 採用時期

採用時期は、原則として平成27年4月1日です。（ただし、既に学校等を卒業している方等は、平成26年度中に採用される場合もあります。）

ただし、本試験に合格しても、健康診断等で就業が困難とされた場合、又は「農業（家畜衛生）」を受験する方で、採用時期までに獣医師の資格を取得（獣医師国家試験に合格）していない場合は採用されません。

9 給 与（次の額は、平成27年4月1日現在における新卒者の場合の例です。）

区 分	初 任 給	諸 手 当
(例1) 研究職員（博士課程修了）	259,896 円	期末手当・勤勉手当（賞与）、通勤手当、住居手当、 扶養手当、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給 条件に応じて支給されます。
(例2) 研究職員（修士課程修了）	208,642 円	

※ 初任給は、採用前の学歴や経歴などを考慮のうえ、決定されます。

当機構では、北海道が実施している給与の独自縮減に準じて、平成28年3月31日までの間、給与の縮減措置を実施しており、表の初任給は、減額した額としています。（2.0%減額）

社会保険については、地方職員共済組合に加入することとなります。

10 申込方法

次の書類を平成26年6月30日（月）までに北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目）あて持参（期限：当日17時）又は郵送（期限日消印有効）により提出してください。

なお、郵送の場合は、必ず簡易書留で送付してください。

- (1) 申込書（指定の様式に黒ペン又は黒ボールペンで明瞭に手書し、指定の場所に写真を貼付してください。）
- (2) 返信用封筒（受験票の送付先を明記し、82円切手を貼付した長形3号（12.0cm×23.5cm））
- (3) 「農業（家畜衛生）」を受験する者にあつては、上記3の受験資格に関する免許証等の写し

受験票は、7月4日（金）から発送する予定です。7月9日（水）までに受験票が届かないときは、7月10日（木）に北海道立総合研究機構本部経営企画部経営企画グループ（電話011-747-0055）に必ずお問い合わせください。

※ 第1次試験受験の際は、必ず受験票の所定の欄に6か月以内に撮影した脱帽、上半身、正面向きの縦4cm×横3cmの写真を貼ってきてください。

11 その他

- (1) 申込書に記載された個人情報は、本試験以外の目的には使用しません。
- (2) 採用の可否に関わらず、応募書類は返却いたしません。
- (3) 収集した個人情報は、北海道個人情報保護条例に基づき適切に管理します。
- (4) 第1次試験合格者には、第1次試験合格通知書の到着後直ちに、申込書の12に概要を記載した卒業論文、修士論文又は学術論文、学会発表等の写しを提出していただきます。